

### 第3節 放火火災に係る地域の評価指針

#### 1. 地域の評価指針（評価シート）の目的

放火火災に対する地域全体の対応力を評価することを目的として、評価シートを用いた方法を開発する。これを用いて、地域ぐるみで放火火災防止対策を総合的かつ効果的に行う前段階として、個人や組織等それぞれのレベルで実施している対策等を確認する。

その後、自己評価の低い項目を中心に、新たな対策を講じて対応力全体のレベルを高めることにより、放火火災防止へつなげていくこととなる。

評価シートを評価する主体は、個人、事業所、自治会・商店街・団地・町内会、地方公共団体・消防本部等（以下「評価者」という。）といった様々な立場やレベルがある。評価者が自らの立場を認識し、様々な視点から取組みを行っていく上で必要性が高いと想定される質問項目を用意し、評価者が当該質問項目に回答しやすい手法とすることにより、放火火災防止に関する現状の対応力の不足部分を客観的に把握できるような仕組みの構築を検討した。

#### 2. 評価シートの概要

一般的に、地域ぐるみで「放火されない環境づくり」を進めていくに当たって、評価者がそれぞれ置かれている様々な立場に応じた評価指針（評価シート）が策定することが必要である。

このため、評価者のレベルを4区分し、評価用の入力シートとして、個人用（シートA）、事業所用（シートB）、地域用（シートC）、地方公共団体用（シートD）について開発を検討した。

それぞれのAからDのシートには、あり方検討報告書、中間報告書、消防機関の取組み等を基礎資料として、本検討会における委員・専門委員の検討により、主な評価軸として数種類を設定し〔中項目〕、中項目の下に複数の実際の質問項目である〔小項目〕を設定している。

なお、評価者のレベルである4区分、主な評価軸＝〔中項目〕の設定方法、実際の質問項目である〔小項目〕は、プランの初版として整理したものであるが、今後、継続的にプランを実施していく中で、効果や実効性を十分吟味し、それぞれ見直していくことが必要と考えられる。

上記の内容を整理して表示すると表2-2に示すとおりであるが、小項目を含めたシートについては、第2編にまとめて示している。

表2-2 作成した評価シートの概要

シート名	個人用 (シートA)	事業所用 (シートB)	地域用 (シートC)	地方公共団体用 (シートD)
評価対象	一般住宅や共同住宅等の建物単体	事業所の建物単体	自治会・商店街・団地・町内会・住宅街区等、生活圏の地域	市区町村・消防本部等
評価				
中項目	①環境要因 小項目 ②敷地・建物への侵入防止 小項目 ③可燃物等の整理 小項目 ④火災の初期対応 小項目 ⑤家族や近隣との協力体制 小項目	①環境要因 小項目 ②敷地・建物への侵入防止 小項目 ③可燃物等の整理 小項目 ④火災の初期対応 小項目 ⑤職場や近隣との協力体制 小項目	①環境要因 小項目 ②敷地・建物への侵入防止 小項目 ③可燃物等の整理 小項目 ④火災の初期対応 小項目 ⑤住民・関係機関との連携	①環境要因 小項目 ②敷地・建物への侵入防止 小項目 ③可燃物等の整理 小項目 ④火災の初期対応 小項目 ⑤住民・関係機関との連携 ⑥対策実施への積極性 小項目

### 3. 評価軸の設定手順

評価シートについて、個人用（シートA）における評価軸〔中項目〕を例として、その考え方を示す。

放火火災防止対策の中項目は、放火行為者が放火に至るまでの行動(想定)に沿って、その流れをどこで断ち切るかを考慮して検討を加えることとした。放火に至るまでの行動の流れと、放火火災防止対策の検討項目としての評価軸〔中項目〕の対応関係は、図2-20に示すとおりである。

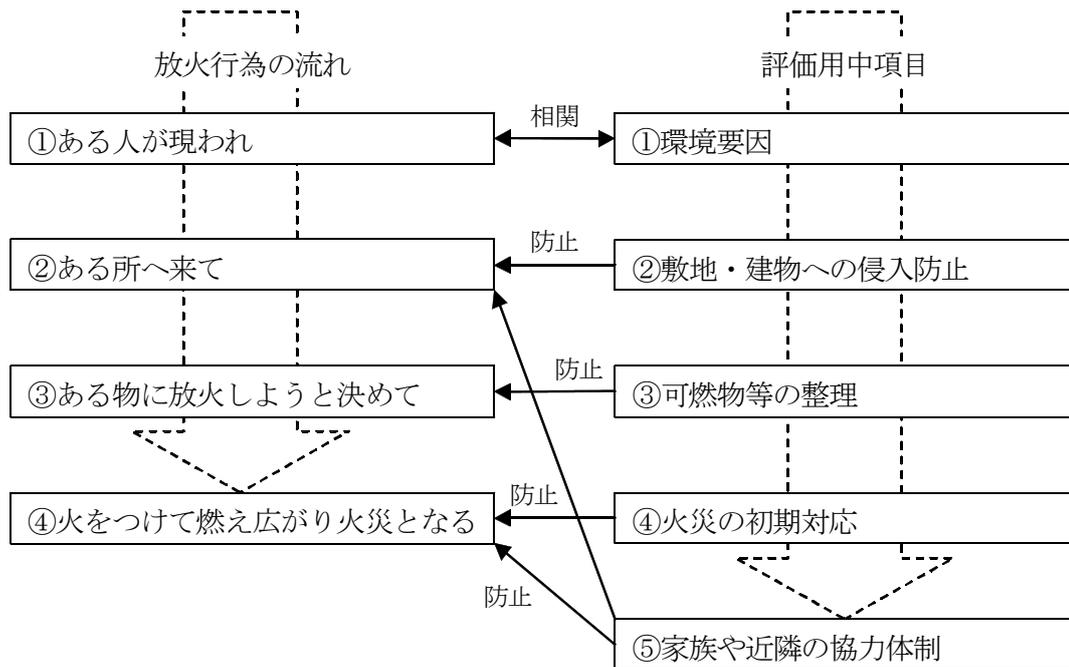


図2-20 放火に至るまでの行動の流れと対応策の評価軸〔中項目〕の対応関係

放火火災は、個人や事業所等が守るべき「生命・財産」を脅かすものである。この場合、地域で放火火災が発生する危険度は、①「環境要因」と深い関わりがある。そして生命・財産を放火火災から段階的に防護するためのポイントとして、②「敷地・建物への侵入防止」、③「可燃物等の整理」、④「火災の初期対応」、⑤「家族や近隣の協力体制」が考えられる。

これについては、個人であるか組織であるかを問わず想定されるため、事業所用（シートB）、地域用（シートC）、地方公共団体用（シートD）についても、同様な評価軸〔中項目〕を設けてある。

ただし、以下の留意事項が挙げられる。

- ・⑤の「〇〇との協力体制」は、評価者に応じて、協力・連携すべき対象が異なるため、評価者の状況に応じて表現内容が異なることとなる。
- ・地域用（シートC）における中項目⑤「コミュニティ」は、放火火災防止対策を講じていく中核的な役割を担う地域（町内会、自治会などの生活圏）に

ついて、放火火災防止対策に限定されない地域の多面的な対応力を評価することが重要であると考えられることから設定している。

- ・地方公共団体用（シートD）における中項目⑥「対策実施への積極性」は、地方公共団体が地域の主導的な立場から対策を講じる必要があることに鑑み設定している。

#### 4. 評価シートへの入力からレーダーチャート表示までの流れ

(1) 評価者は評価する立場に応じて、入力用の評価シートを選定する。

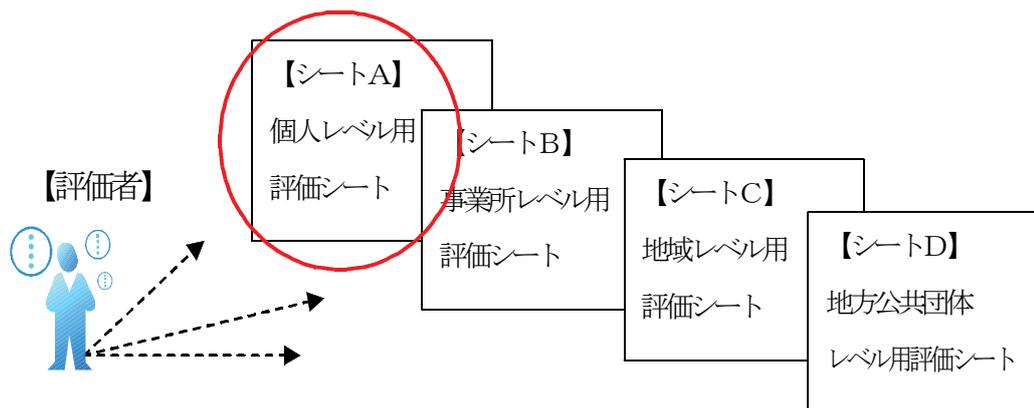


図2-21 入力用評価シートの選定

(2) 評価者は、自分が選定した評価シートに設けられた小項目の事項に対し、自己評価を行う。各質問項目について、実施できている場合「はい」、実施できていない場合「いいえ」というように、2者択一形式で入力を行う。

質問		回答
1	前面道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
2	付近の道路は、深夜でも人通りがありますか？	<input type="checkbox"/> 多少・かなりある <input type="checkbox"/> ほとんどない
3	建物前面の道路には、街路灯が設置されていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
4	自宅付近で放火が発生したこと(聞いたこと)がありますか？	<input type="checkbox"/> 発生したことがない <input type="checkbox"/> 発生したことがある
5	付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したこと(聞いたこと)がありますか？	<input type="checkbox"/> 発生したことがない <input type="checkbox"/> 発生したことがある
6	門扉には夜間鍵をかけていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ・門扉がない
7	道路に面した車庫や物置には夜間鍵をかけていますか？	<input type="checkbox"/> はい・道路に面した車庫や物置がない <input type="checkbox"/> いいえ
8	敷地内に他人が簡単に入りにくくなっていますか？	<input type="checkbox"/> 入りにくい <input type="checkbox"/> 入りやすい
9	深夜でも玄関灯や門灯をつけていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ・玄関灯や門灯がない
10	長期に留守する際、新聞配達を止める、室内の照明を点灯させておく等、放火対策として心がけていることはありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

図2-22 評価シートへの入力作業（イメージ）

- (3) 入力終了後、評価値が算出される。  
 (プログラムソフトのシステム内部集計処理)

中項目	ID	重要度 ※1～3で設定	達成度(現状の評価) ※Yes=「1」、 No=「0」を入力	重み付き 達成度	中項目 評価値
1. 環境要因	1	2.2	1	0.20	0.81
	2	2.1	0	0.00	
	3	2.8	1	0.25	
	4	1.9	1	0.18	
	5	1.9	1	0.18	
2. 敷地・建物への 侵入防止	6	2.6	1	0.22	0.60
	7	2.5	1	0.20	
	8	1.8	0	0.00	
	9	2.8	0	0.00	
	10	2.5	1	0.18	

各項目の重要度は、専門部会委員による入力値に基づき、それらの平均値として定めている。

評価者の回答結果は、Yes を 1、No を 0 として加点方式で評価される。

図2-23 評価値の算出画面 (内部集計処理)

- (参考) 評価値は、以下の手順で算出される。

重み付き達成度 (=小項目評価値)

重み付け達成度とは、中項目における当該小項目の影響を考慮した達成度のことをいう。

例えば、中項目①「環境要因」に含まれる小項目 ID 1 の重み付き達成度は、以下のとおり算出される。

$$\begin{aligned}
 \text{重み付き達成度} &= \frac{\text{当該小項目の重要度}}{\text{中項目に含まれる全小項目の重要度の総和}} \times \text{当該小項目の達成度} \\
 &= \frac{2.2}{2.2+2.1+2.8+1.9+1.9} \times 1 \\
 &\doteq 0.20
 \end{aligned}$$

## 中項目評価値

中項目評価値は、中項目に含まれる小項目評価値（重み付き達成度）の総和をとったものをいう。

例えば、中項目①「環境要因」の中項目評価値は、以下のとおり算出される。

$$\begin{aligned} \text{中項目評価値} &= \text{中項目に含まれる小項目評価値の総和} \\ &= 0.20 + 0.00 + 0.25 + 0.18 + 0.18 \\ &= 0.81 \end{aligned}$$

(4) 放火火災に対する自らの危険度の評価結果として、レーダーチャートが提示される。

- ・チャートの各辺は、中項目と対応
- ・各辺の大きさは、放火火災危険度に対する対応力を示し、例えば、チャートの辺が短い項目は、対応が遅れているため危険性が高いことを意味する

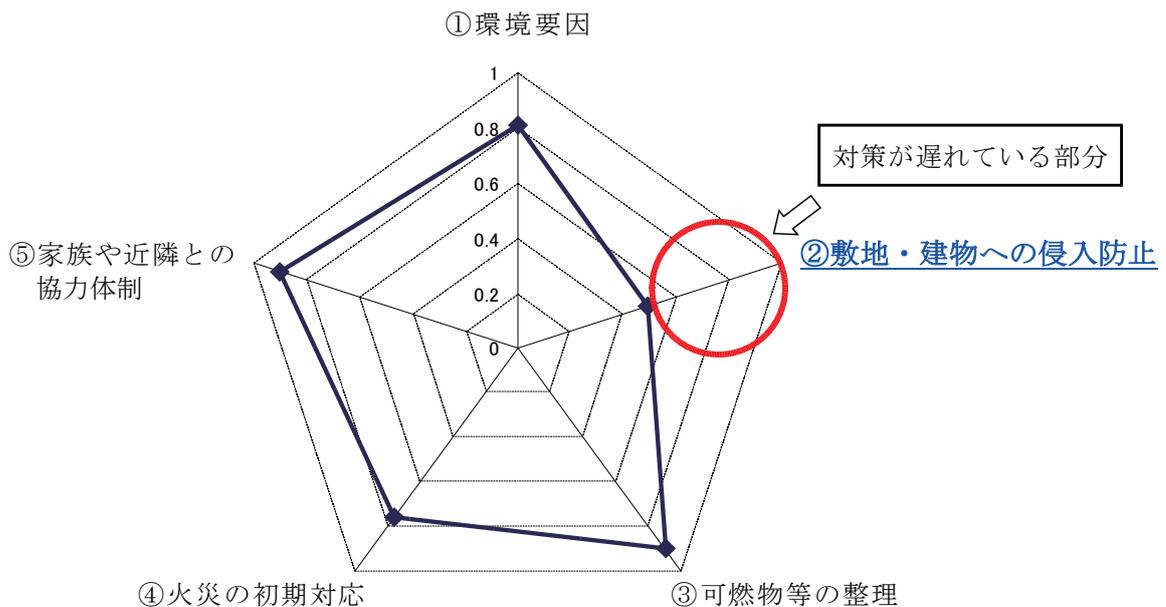


図2-24 レーダーチャートの表示例

上図は、個人用シートの記入例をレーダーチャートに示したものである。中項目①「環境要因」、③「可燃物等の整理」、④「火災の初期対応」、⑤「家族や近隣との協力体制」への対応力が高い反面、②「敷地・建物への侵入防止」への対応が遅れていると読み取れる。

前述までの評価値の目盛りの設定は「0～1」で設定されているが、実際に使用する場面に応じてこの評価値の目盛りの設定を振り直しても良い。

(例：0～1、0～10 [10点満点方式]、0～100 [100点満点方式])